

## 和歌山でも進むか?! 「小規模多機能自治」

わかやま NPO センターでは、7月14日に和歌山市勤労者総合センターにて、学習会「地域づくりはこれからどう変わる? ~市民が主役のまちづくり」を開催しました。島根県雲南市をはじめとした過疎地域から徐々に都市部に広がりを見せ始めている「小規模多機能自治」の考え方を、提唱者でもある川北秀人さん（IHOOE[人と組織と地球のための国際研究所]代表）の講義と、ご参加のみなさんとの質疑応答で学びました。トピックスを凝縮してお伝えします。



講座では、具体的なデータを元に熱のこもった話題提供をいただきました

### その1 高齢化「第2幕」

人口減少や高齢化の動向はさんざん取り上げてきた話題ですが、今後課題になるのは高齢化の質だといえます。高齢者といっても元氣な方がたくさんいらっしゃると思います。しかし85歳以上になると、4人に1人が介護保険の「要介護3以上」に立ち上がりや歩行が自力ではできず、ほぼ終日、他者のケアが必要になります。

を支える形だったのが、20年後には5・6人で1人を支える形に。そのぶん介護にかかる金銭的・人的負担が増大する可能性を考えると、厳しい数字といわざるを得ません。

### その2 公共施設の「高齢化」

「わかつく」でも取り上げた「公共施設のあり方」。和歌山市内の公共施設は、面積ベースで2割削減し、残る施設も収入増の取り組みを進めないと維持できないこと、道路や水道は法定耐用年数での更新はともできない状況であることなどを紹介しました。他の自治体でも厳しい状況で、県内では公共施設の新社を行わないと決めた自治体もあります。

### その3 行政と地域の境界

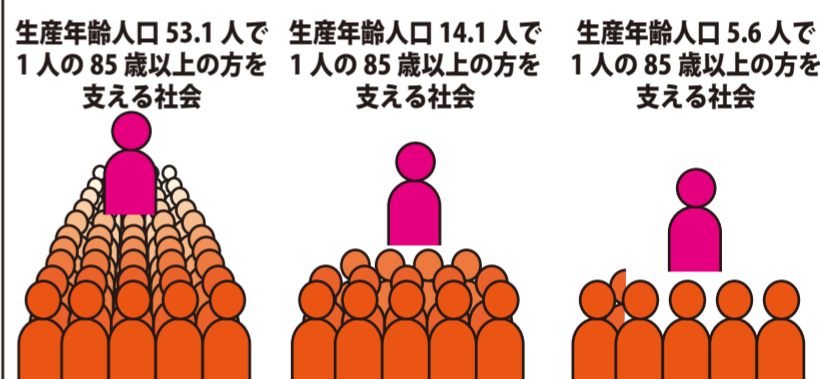
行政機関も行政改革や職員数と人件費の削減などの努力をおこなっていますが、高齢者の増加とともに福祉等にかかる費用の増加が見込まれ、多くの自治体で財政の硬直化が進んでいます。また、自治会・町内会構成員の高齢化で事業が困難になったり、児童数減少や共働き増加などで学校のPTA活動が停滞したり、といった話題を耳にされたことはあるのではないのでしょうか。これまでに動いてきた様々な仕組が機能不全に陥りかけています。

### 地域の実践例から

人口減少に悩むいくつかの地域では思い切った形で地域運営の形を変え始めています。各地の実践例をもとに生まれたのが「小規模多機能自治」の考え方です。島根県雲南市の取り組みなどがベイスになっています。島根県東部の雲南市は、市内にある公民館の運営を地域住民に委託。住民が主体となった「地域経営」の視点を導入しました。地域を構成するあらゆる主体がそれぞれの視点で自分たちの地域の今後を主体的に考え、動く「総働」の考え方が根

### 和歌山市の85歳以上人口と生産年齢人口(15~64歳)の割合

※85歳以上の4人に1人が要介護3以上であることに注意



出典：国勢調査、社会保障・人口問題研究所推定

付きつつあります。地域の規模は小さくても、地域住民による「自治組織」が行政や事業者、他のNPOなどと連携しながら、自分たちの「まちなり方」を自分たちで検討し、取り組みを実践するのが「小規模多機能自治」です。

例えば農協の跡地で地域住民が野菜などをもち寄った産直市を開いたり、住民が受託した水道検針の機会を使ったり、健康に不安がある住民を見つけた際は保健師等に連絡したり、といった取り組みが広がっています。

地域が必要とされる安心・安全の機能の維持、地域に伝わる文化や伝統をどう残していくか、そして地域内の経済をどう回すかといったポイントを踏まえた取り組みであることが特徴です。

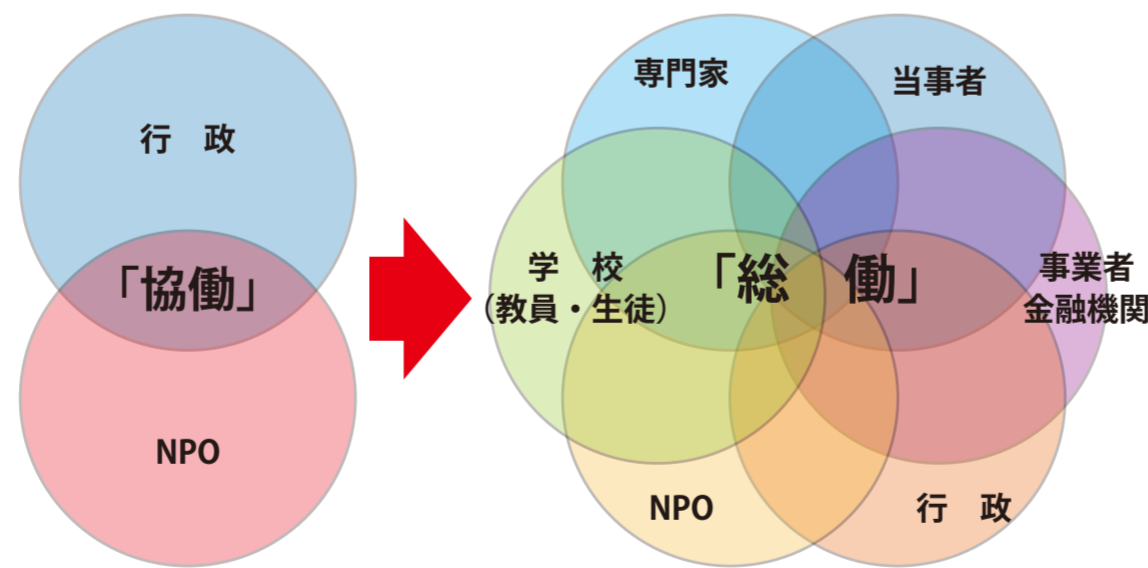
ほかには、那覇市内の市営団地の自治会が買い物困難の方のために移動支援をおこなう傍ら、高齢者の見守り活動と居場所づくり、安価で昼食を食べられる会などの取り組みを進め、今では那覇市内の他の市営団地にも活動が広がっています。



(志場久起)

会場はほぼ満員。NPOのほか、行政・議会・会社員など幅広い分野からご来場いただきました。

### 小規模多機能自治につながる「総働」の考え方



「1対1の業務・責任分担」から「多様な主体による協働」へ  
「団体の支援」から「(小規模多機能)自治の確立・維持」へ

これまでの「わかつく」特集記事のなかで、「小規模多機能自治」につながる地域づくりのあり方を取り上げた記事には以下のようなものがあります。

- 151号 どうなる? どうする? 公共施設～「公共施設等総合管理計画」を読む(1)
- 153号 どうなる? どうする? 公共施設～「公共施設等総合管理計画」を読む(2)
- 155号 どうなる? どうする? 公共施設～「公共施設等総合管理計画」を読む(3)
- 159号 和歌山市、人口減少は一部鈍化も高齢化は進行
- 161号 和歌山市の高齢化の現状…一人暮らし高齢者が急増
- 165号 2015年国勢調査結果からみる県内の人口動向

わかやま NPO センターのウェブサイト (<http://www.wnc.jp/>) 内の「わかつく」バックナンバー掲載ページからご覧いただけます。

### みんなでつくる情報板

## わかやまイベントボード

●浜矩子が語る! 誰もが幸せになれる経済論～日本を変える女性の力～

グローバル社会とはどのような社会なのか、女性が活躍することによって社会はどう変わっていくのかについて学びます。

日時 7月29日(土) 13:30～15:00

場所 和歌山ビッグ愛大ホール

講師 浜矩子さん(エコノミスト)

参加費 無料(申し込み必要)

主催 和歌山県・和歌山市・和歌山社会経済研究所

問い合わせ・申込み 和歌山県男女共同参画センターいぶる(073-435-5245)

●音声ガイド 日本語字幕付き映画「ちよき」上映会

場面を説明する音声ガイド・日本語字幕で、視覚障害者・聴覚障害者も楽しめる映画の上映会。上映される「ちよき」は昨年、和歌山市内で撮影された作品です。

日程 7月30日(日) 9:50～

場所 和歌山市ふれ愛センター

2階視聴覚室

参加費 無料

定員 50名(先着順)

問い合わせ つれもて和歌山

(090-5132-7268)  
備考 健康者の方も参加できます。

●「夏休み一日こども研究員」大集合!

米づくりの試験研究、食べ比べなどを体験してみませんか。

日程 8月7日(月) 9:30～12:00

場所 和歌山県農業試験場(紀の川市)

参加費 無料

対象 小学校4年～6年生(保護者同伴のこと)

定員 20組(先着順)

締め切り 8月1日(火)

問い合わせ・申込み 和歌山県農業試験場(0736-64-2300)

●おまわりさんの「たそがれコンサート」

夏の夕暮れ、音楽で楽しみませんか。

日程 8月11日(金) 18:00～19:00

場所 和歌山県立近代美術館・博物館エントランス広場

参加費 無料

問い合わせ 和歌山県警察音楽隊(073-484-3565)

備考 天候によっては中止となる場合があります。



このほかの情報もたくさん掲載!  
「わかやまイベントボード」  
URL <http://eventboard.shimniju.jp/>